

## お客様紹介 服部 純司様

今回ご紹介するお客様は、日野町にご自宅を新築された服部純司様です。  
服部様はご友人の紹介がきっかけとなり、当社で建築して頂きました。

間取りや外観は御夫婦でいろいろと確かな構想を練っておられ、多少の動線の打ち合わせをするだけという完成度の高いものでした。

この御夫婦が共に気に入っておられるのがキッチンなんです。

なんとご主人様も料理が得意で、取材の日もミートスパゲティをご馳走になりました。とてもおいしく頂きました。本当にご馳走様でした。

御夫婦は、キッチンのところが気に入っているかとお聞きすると、2ヶ所あって、「1つ目はバックにある飾り棚、2つ目は横に作った食品庫の可動棚だそうなんです。

実はこの飾り棚は、窓枠を利用して作っておりシンプルなお仕上がりですが、奥様のイ



ここでこれから家をお考えの皆様には、照明器具の調光器とコンセントの配置だそうなんです。この調光器のことをお聞きすると、どうも寝られるときには今まで豆電球をつけておられたようで、同じ棚が有る方には必要だそうなんです。でも勉強になりました。またコンセントは、出来るかぎりリビングの角(四方)にはほしいと感じたことでした。皆様参考にしてください。

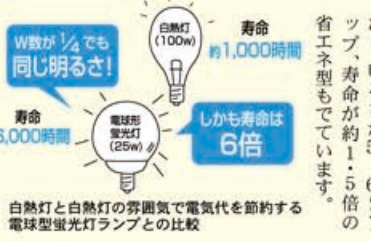
なんと！この新築の住宅にツバメが巣をつくりました。ご主人様が梯子に登って撤去しようとしたところ、巣の中に卵が2つあったそうで、今年はこのままにしておく予定です。ツバメの巣は昔から言い伝えがあり、新築の家に巣ができると、家族が楽しく暮らせるそうですよ。なんかちょっと幸せな気分になりました。最後にになりましたが、突然の訪問にも関わらず終始楽しく取材をさせて頂き、有難うございました。



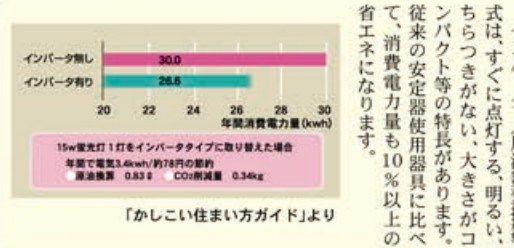
## ムダを省いて快適に暮らす省エネ生活

## あかりで省エネを

① 白熱灯はできるだけ少なく、極力蛍光灯を使いましょう。  
従来の管よりスリムになり、明るさが50〜60%アップ、寿命が約1.5倍の省エネ型も出ています。



② 蛍光灯もできるだけインバーター蛍光灯器具にしましょう。  
インバーター器具とは？  
インバーター周波数変換器式は、すぐに点灯する、明るい、ちらつきがない、大きさがコンパクト等の特長があります。従来の安定器使用器具に比べて、消費電力量も10%以上の省エネになります。



一般家庭では、照明に全体の16%にあたる電力を使用しています。したがって目的に合った正しい照明の使い方をすれば、大きな省エネ効果を上げることになります。日中は日光をフルに活用して照明器具を使わないようにすることが基本ですが、まず照明器具を選ぶポイントをご紹介します。

## 気になる記事を発見

## 冷蔵庫 水ぶきすれば大増殖

冷凍冷蔵庫は、家庭での食品保存に欠かせないものになってきました。冷凍冷蔵庫で低温保存しておけば、微生物(細菌・酵母・カビなど)は繁殖しないと思いがちですが、微生物は土壌や水中など自然界には幅広く分布しており、微生物が原因である腐敗を抑える事はできて、なくすることはできません。繁殖し続けるのです。

兵庫県立生活科学研究所が冷凍冷蔵庫内の13箇所(冷蔵庫1取っ手、庫内底面、庫内側面、ドアポケット、卵ケース、野菜室1取っ手、庫内底面、庫内側面、チルド室1底面、側面、冷凍室1取っ手、庫内底面、庫内側面)でふき取り検査を行ったところ、最も多く細菌が繁殖していたのは野菜室で、次に冷蔵室のドアポケットの部分だったそうです。

野菜室で野菜を袋に入れずにそのまま保管(野菜くず有り)した場合と、野菜くず無しで保管した場合とは、菌の数が100〜10000倍も異なっていたそうです。早速掃除しよう……ちよつと待った！  
まだ検査には続きがあるのです。

野菜室の清掃前と清掃後の菌の数を比較したところ、フキンで水拭きすると菌の数は清掃前の30〜700倍に増加。大増殖してしまいました。  
野菜は袋に入れて保存しましょう。  
※消毒用エタノールは薬局などで簡単に入手できますよ。

③ 省エネラベル付器具(前回にきわい記載)を選びましょう。  
④ センサーやタイマー付等の活用  
照明のつけっぱなしはムダ。消し忘れがちなトイレや廊下、玄関などには人が近づいたら点灯し、いなくなる自動消灯するセンサータイプの器具を設置すると、かきこい照明の使い方を自動的に行ってくれます。

その他、照明器具の清掃も心がけましょう。1年間掃除しないと約10%明るさが低下します。ムダな明かりはこまめに消しましょう。そして、高省エネの照明器具を選び、かきこい使い方をして環境に貢献しましょう。

## 社員紹介

## いぶし銀のよんじ

はじめまして、My Star 事業部の井上 寛と申します。注文住宅、木造一戸建住宅の営業、販売に、二十数年携わってまいりました。  
家(マイホーム)を建てるということは、一世一代の大事業です。建築時期、建築場所、ご予算、間取り、こだわり、等々解決していかなければならない問題がたくさんございます。その一つ一つを解決し、ご満足いただく

代が変わっても、木造住宅の良さ、日本家屋古来の良さ、日本人としての感性を同時に提案できるような私自身、情報収集、知識、感性を高めるよう日々、努力を怠ることのないよう精進していかねばいけません。マイスター事業部は、若いスタッフも多く活気のある職場です。足を引く張らないよう、年の功でいぶし銀の味を出せるよ



こんにちは！井上 寛です。